

平成22年5月14日
株式会社 中国銀行

「地域密着型金融推進計画」
平成21年度の推進状況について

当行では、「地域密着型金融推進計画」を策定し、融資などに代表される資金供給者としての役割に加えて、創業・新事業支援や事業承継、事業再生・経営改善支援をはじめとした取組みを通じ、地域経済の活性化に向けた支援に積極的に取り組んでおります。

今般、平成21年度の「地域密着型金融推進計画」の推進状況について取りまとめましたのでお知らせします。

記

1. 平成21年度の推進状況について

「地域密着型金融推進計画」は、平成21年度から平成22年度までの2年間の活動期間と定め取り組んでおりますが、平成21年度（平成21年4月～平成22年3月）においては各項目とも順調に推移しました。

2. 重点活動項目および数値目標の達成状況

「地域密着型金融推進計画」における重点活動項目および数値目標の達成状況は次のとおりです。

重点活動項目	具体的目標	平成21年度 (1年間) 実績	平成21～22年度 (2年間) 目標
創業・新事業支援	創業・新事業に対する投資・融資件数	41件	40件以上
事業再生・経営改善支援	債務者区分のランク維持・アップ率	81.4%	80%以上
事業承継	事業承継相談件数	266件	150件以上

詳しくは、「地域密着型金融推進計画」をご覧ください。

以上

「地域密着型金融推進計画」
～平成21年度の推進状況について～



中国銀行

平成22年5月14日



Integrity & Innovation

目次

・「地域密着型金融推進計画」における基本方針	2
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	2
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の促進	3
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	3
・平成21年度の進捗状況について	4
・重点活動項目および具体的目標	5
・重点活動項目の取組み状況	6
(1) 創業・新事業支援に向けた取組み	6
(2) 事業再生・経営改善支援に向けた取組み	7
(3) 事業承継に向けた取組み	8
(4) その他の具体的な取組み	9

「地域密着型金融推進計画」における基本方針

当行では、融資などに代表される資金供給者としての役割に加えて、創業・新事業支援や事業承継、事業再生・経営改善支援をはじめとした取組みを通じ、地域経済の活性化を支援していくことが、重要な課題であると認識しており、以下の3つの基本方針をもって、地域密着型金融を進めてまいります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

当行では、営業基盤としている地域経済の活性化のため、取引先企業の成長段階に応じた貢献を積極的に果たしていく方針です。

(1) 創業・新事業支援、事業承継分野

専門スキルを持つ人材の育成、および営業店行員向け研修会や本部行員による同行訪問の拡充により、ソリューション機能の取組み強化を図ります。

(2) 事業再生・経営改善支援分野

営業店と本部が一体となった経営改善サポート活動を一層強化することで、取引先企業の「課題の把握」・「経営改善計画の策定」を支援します。また、外部専門家や専門機関を積極的に活用することで、事業再生・経営改善支援分野のサポート手法の高度化を図ります。

「地域密着型金融推進計画」における基本方針

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の促進

当行では、取引先企業の事業価値を見極める融資手法を促進するために、各種研修などにより若手行員をはじめとした行員の融資スキル(「目利き」能力)の向上を図るとともに、取引先企業の資金供給力を高めるための手段として、個人保証・不動産担保に過度に依存しない資金供給手法の導入を進めていく方針です。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

当行では、地域経済が活性化し持続的な成長を続けていくためには、地域の将来ビジョンを地域と共有し、地域の実情や課題に即した取組みが重要であると認識しております。引続き産学官連携への積極的な参画を果たすとともに、企業のみならず次世代を担う若い世代などへの金融知識の普及や、大都市と地域の二極化問題や少子高齢化問題など社会的変化への対応といった豊かな地域社会形成への貢献を持続的に進めていく方針です。

「地域密着型金融推進計画」 平成21年度の推進状況について

「地域密着型金融推進計画」は、平成21年度および平成22年度の2年間を活動期間と定め、各項目について業務所管部署を中心に進めております。平成21年度の主な取組みおよび実績は次のとおりです。

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

創業・新事業支援分野においては、「ちゅうぎん企業育成支援制度(注1)」や「岡山県中小企業支援資金融資『新規創業資金』」等の創業・新事業支援の制度を活用することで、投資および融資については41件(前年度20件)の実績となりました。また、事業承継分野においても営業店と本部との連携強化により、事業承継相談件数は266件(前年度222件)の実績となり、平成22年度までの目標として掲げていた「150件以上」を達成しました。(注1:事業の成長性・将来性に主たる判断を置き、融資・投資両面から支援・育成を行う制度)

事業再生、経営改善支援分野では、経営改善サポートセンター等本部と営業店が一体となった経営改善サポート活動により、債務者区分のランク維持・アップ率は81.4%(目標80%以上)と順調に推移しております。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ 中小企業に適した資金供給手法の促進

企業の保有する在庫を担保とした「ABL(動産担保融資)」の商品化を進め、平成22年4月に取扱いを開始しました。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域経済の活性化を目的にした「産業クラスター金融会議 岡山県地域分科会」の主催や、岡山県内16大学の学生を対象として、「自立した生活者・消費者としてお金と向き合える力を習得する」ことを目的に当行行員が中心となって講義する「ちゅうぎん『金融知力』講座」を開催しました(平成18年度より毎年開催)。

重点活動項目および具体的目標

当行の「地域密着型金融推進計画」における重点活動項目、具体的目標および数値目標は、平成21年4月から平成23年3月末を期限とした2年間を活動期間と定めていますが、平成21年度（平成21年4月～平成22年3月）においては各項目とも順調に推移しました。

重点活動項目	具体的目標	平成21年度 (1年間) 実績	平成21～22年度 (2年間) 目標
創業・新事業支援	創業・新事業に対する投資・融資件数	41件	40件以上
事業再生・経営改善支援	債務者区分のランク維持・アップ率	81.4%	80%以上
事業承継	事業承継相談件数	266件	150件以上

- 1) 債務者区分のランク維持・アップ率の作成基準
 - ・平成17年4月から各年度末迄に、経営改善サポートセンターで取組んだ先(累計ベース)の中で、ランク維持またはランクアップした先数の割合
 - ・平成17年3月期の債務者区分との対比(期間中に経営改善サポートセンターに組入れした先は、組入れ時の債務者区分との対比)
 - ・期間中の取引解消先と新規先は除く
- 2) 債務者区分のランク維持・アップ率の平成21～22年数値目標(計画)は、平成22年度の実績
- 3) 数値目標で件数で表記している項目は、平成21年4月から平成23年3月末までの累積カウント

重点活動項目の取組み状況 ~ 創業・新事業支援に向けた取組み

将来的に、事業が拡大・発展する可能性を秘めたお客さまを対象に、融資制度や投資制度などを通じた資金支援など創業・新事業支援の取組み強化を進めております。

具体的な取組み事例

支援制度の活用

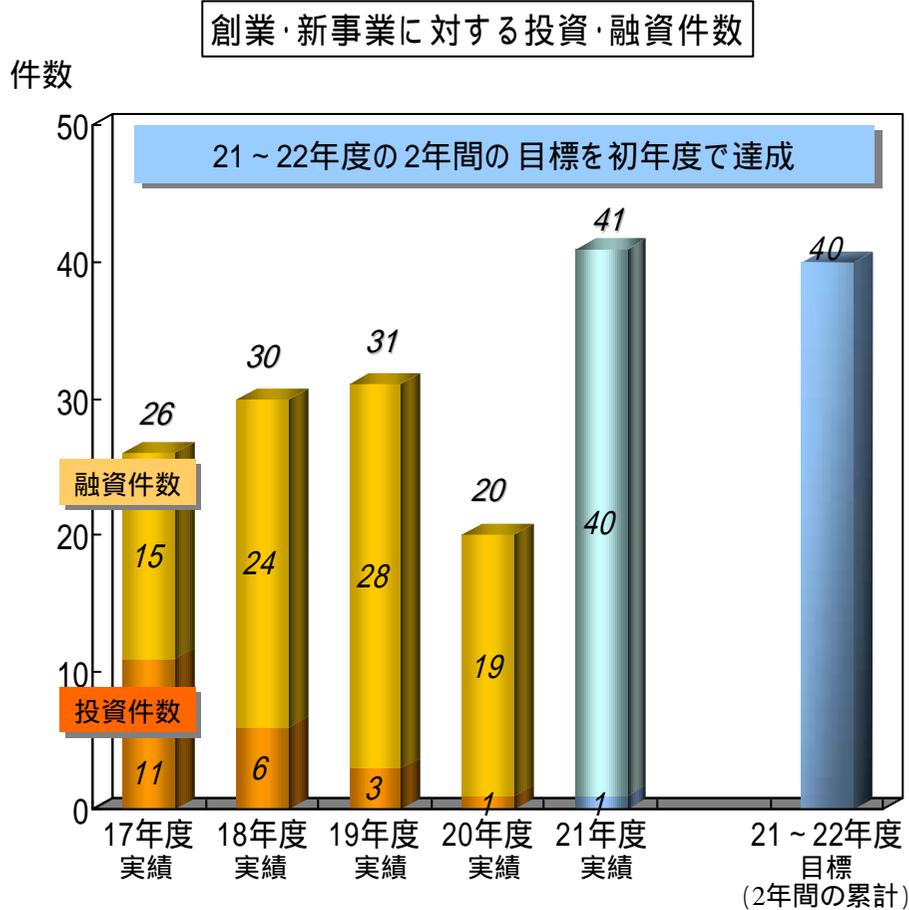
- 「ちゅうぎん企業育成支援制度」の活用
 - 「ちゅうぎん企業育成支援制度」活用事例
 - Webサイト企画・製作・管理および広告マーケットプレイス事業を営む地元ベンチャー企業に対して投資を実施 (21年11月)

人材の育成

- 専門スキルを持つ人材の育成
 - 取組み事例
 - ファンド運営会社へ研修派遣を実施

外部機関との連携

- 地元岡山大学や岡山県立大学、および香川大学と包括提携し、お客さまと大学との共同研究の橋渡しに注力



「ちゅうぎん企業育成支援制度」の投資制度のご利用先は、将来的に株式公開を検討しているお客さまが対象となります

重点活動項目の取組み状況 ~ 事業再生・経営改善支援に向けた取組み

取引先企業の債務者区分の悪化防止(ランク維持)ならびに業績改善(ランクアップ)を図るため、営業店と本部が一体となった経営改善サポート活動の強化を進めております。

具体的な取組み事例

支援態勢
の強化

- 融資部内に「経営改善サポートセンター」グループを設置(15年7月)
- 「経営改善サポートセンター長」を配置(17年11月)
- 融資部内に「自動車関連支援グループ」を新設し、自動車関連事業について経営改善サポート体制を強化(21年2月)

人材
の育成

- コンサルティング機能の発揮に向け、経営支援、事業再生支援の能力向上のため、行員に対する行内研修を充実

外部機関
との連携

- 中小企業再生支援協議会、RCC(整理回収機構)など外部専門家・専門機関を積極活用するなどサポート活動を高度化

債務者区分の推移(H17/3期とH22/3期との対比)

H17/3期 \ H22/3期	正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先
正常先	16				
要注意先	60	109			
要管理先	25	89	3		
破綻懸念先	4	20	0	27	
実質破綻先	0	4	0	0	3

158 ……ランク維持先
 202 ……ランクアップ先
 対象先…442先(H17/4からH22/3迄に、経営改善サポートセンターで取組んだ先[累計ベース])

債務者区分のランク維持・アップ率 = 81.4%
(参考) (158先 + 202先) ÷ 442先

重点活動項目の取組み状況 ~ 事業承継に向けた取組み

経営者の高齢化の進行に伴い、後継者の確保は、取引先企業における重要な経営課題と認識しており、研修を通じて、専門スキルを持つ人材を育成するとともに、事業承継に関する相談態勢の強化を進めております。

具体的な取組み事例

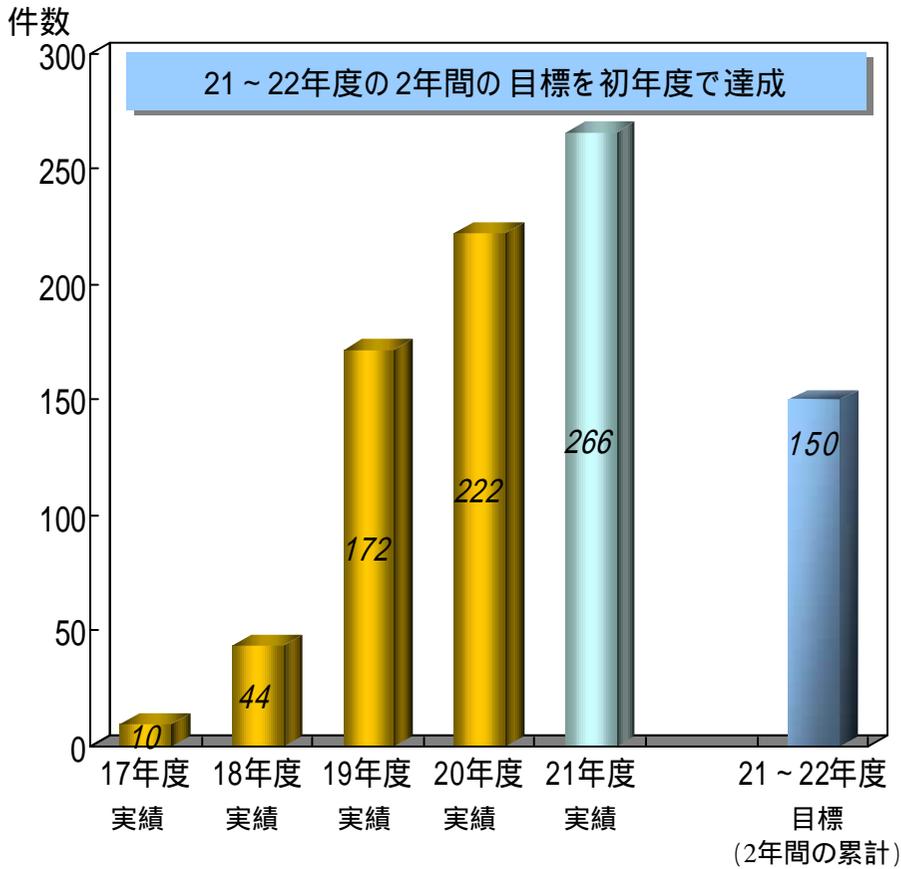
相談態勢の強化

- **ブロックFA(投資銀行業務担当)を増員、営業店と本部の連携を強化**
 ブロックFA(投資銀行業務担当)について
 - 事業承継などの経営課題に対して、専門スキルを持つ本部担当者と営業店の連携を強化する目的で21年5月に本格稼働
 - 取引先企業の本部担当者による訪問実績
平成21年度 266先(前年度比+122先)

人材の育成

- **営業店FA(投資銀行業務担当)制度の充実、担当者向けの研修会を実施・強化**
 営業店FA(投資銀行業務担当)制度について
 - 事業承継などの経営課題に対して、高度なソリューションを提供する態勢を整備・強化する目的で新設
 - 営業店FA(投資銀行業務担当)任命者数
110名(22年3月末現在)

事業承継相談件数



重点活動項目の取組み状況 ~その他の具体的な取組み

個人保証・不動産担保に過度に依存しない資金供給手法の導入

- 「ABL(動産担保融資)」の体制整備
 - 「ちゅうぎん設備担保ローン」の取組強化
トラック、工場の機械などを担保にした制度融資
 - 動産評価・モニタリング・処分業務の専門会社との業務提携(22年2月)
 - 「ABL(動産担保融資)」の制度融資化(22年4月)
企業の保有する在庫(原材料、商品等)を担保とした制度融資
- 「経済情勢変動対策」への対応制度融資の拡充
 - 外部要因により、経営の安定に支障を来しているお客さまを支援するための制度融資
 - 「全国緊急特別融資制度」の新設(20年11月)
 - 「景気対応緊急特別融資制度」の新設(22年2月)

「環境保全促進」への対応制度融資の新設

- ちゅうぎん環境配慮型融資制度(環境省利子補給制度活用プラン・独自制度の2制度)の新設(21年12月)
地球温暖化対策にかかる設備投資を行うお客さまを支援するための制度融資

重点活動項目の取組み状況 ~その他の具体的な取組み

各種研修制度などを通じた行員の融資スキル(「目利き」能力)の向上

- 地方銀行協会 業種別企業経営研究講座への参加
- 社会経済生産性本部 経営コンサルティング養成講座への参加

産学官の連携

- 産業クラスターサポート金融会議への参画

(第8回岡山県地域分科会の内容)

開催時期・・・平成22年2月15日(月)

開催場所・・・ちゅうぎん駅前ビル

参加機関・・・研究機関、公的機関、金融機関、民間企業

《当日の内容》

- 地元企業2社によるビジネスプランを発表
- 独立行政法人中小企業基盤整備機構より、「海外展開支援施策について」の説明
- 全体討議、意見交換

重点活動項目の取組み状況 ~その他の具体的な取組み

金融知識の普及

- 若年層への金融教育
 - 子供たちの企業見学の受け入れ(随時)
 - 大学生向け「ちゅうぎん『金融知力』講座」の開講(18年より毎年開催)
 - 高校生向け「エコノミクス甲子園中国大会」開催(19年12月より毎年1回開催)
- 高齢者層への金融知識の普及活動
 - コンサルティングプラザ(岡山駅前支店)における金融商品セミナーの実施(毎月定期的に実施)

子供たちの企業見学



大学生向けちゅうぎん『金融知力』講座



高校生向けエコノミクス甲子園中国大会



金融商品セミナー



重点活動項目の取組み状況 ~その他の具体的な取組み

地域貢献

- 次世代を担う技術者・科学者の育成のための「科学大好き岡山クラブ」の支援(20年4月より)
- 岡山大学大学院と協働した寄付講演を開催(20年11月より年1回開催)

持続可能な社会形成への貢献

- 当行本店ビルへの太陽光発電の設置と企業見学での環境教育の実施(20年12月より)
- バイオマスタウン真庭と協働した「ちゅうぎんの森」整備事業を開始(20年11月より)

科学大好き岡山クラブ



岡山大学大学院と協働した寄付講演



本店ビルの太陽光発電



「ちゅうぎんの森」整備事業

